

カセットボンベ製缶工場を新設、5月19日より本格稼働開始

2020年度当社カセットボンベの国内販売シェアは63%、販売数量は過去最高となる、約9,000万本を記録しました。コロナ禍におけるライフスタイルの変化を受け、より一層需要が高まっています。このような中、さらなる安定供給体制の強化を目的として、当社グループ会社にて、国内では初めてとなるカセットボンベ製缶工場を建設し、稼働を開始しました。

カセットボンベ製缶工場の概要

所在地	滋賀県近江八幡市長光寺町951
製造能力	年間約7,000万缶
建築面積	約2,812㎡
運営・管理	イワタニカートリッジガス株式会社



左は充填工場、右が新設の製缶工場

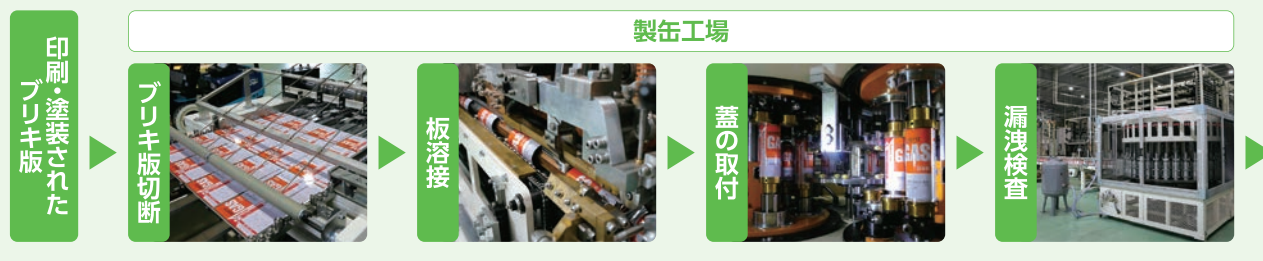
製缶工場とは?

カセットボンベの空缶を製造する工場です。空缶を製造後、隣接するカセットガス充填工場にてLPガスを充填、梱包まで行います。

これまで空缶は全て国内で外部調達していましたが、

空缶の製造から充填・商品化まで一気通貫で行うことにより、品質管理と安定供給の強化を図ることが可能となりました。なお、中国の当社グループ会社では既に製缶をしており、そのノウハウを国内でも生かします。

製造フロー



カセットこんろ・カセットボンベの販売台数拡大

コロナ禍におけるおうちごはん需要やアウトドアブームを受け、カセットこんろやカセットボンベの販売数が拡大しています。

カセットこんろ
前年 約240万台 ▶ 2020年度 約290万台

カセットボンベ
前年 約8,400万本 ▶ 2020年度 約9,000万本

創業36年目に突入! イワタニ・プリムス株式会社の紹介

本格キャンプ派でなくとも、「PRIMUS」という名前を聞いたことがある方は多いのではないのでしょうか? その「PRIMUS」を始め、多くの本格派アウトドアグッズを取り扱う当社グループ会社のイワタニ・プリムス株式会社は、昨年に創業35周年を迎えました。同社の歴史とその取り扱いブランドをご紹介します。

▶ プリムスとイワタニの歴史

プリムスブランドが日本に紹介されたのは1959年のこと、当社が輸入販売したのが始まりです。再充填方式の鋼製ガスシリンダーをベースとした商品でした。その後、1985年にスウェーデンの世界企業PRIMUS ABと当社が

共同出資し、イワタニ・プリムス(株)を設立しました。

以来、日本のフィールドに適した商品開発をしたり、日本の技術を紹介したりと、両社の持ち味を高めながら現在に至っています。

▶ 取り扱いブランド一覧

取り扱い開始年度	1985年	1985年	1996年	1997年	
	PRIMUS	trangia	LAKEN	deuter	
	プリムス	トランギア	ラーケン	ドイター	
					
	代表的な商品 2243バーナー 直結型シングルバーナー	代表的な商品 スチームクッカー アルコールバーナーとクッカーのセット	代表的な商品 クラシック アルミボトル	代表的な商品 フューチュラ 背面メッシュのバックパック	
世間のアウトドアブームの変遷	1970年ごろ ▲大衆登山ブーム	1990年代前半 ▲アウトドアブーム	1994年ごろ ▲NHK「日本百名山」が放映され中高年層で「百名山」がブームに		
取り扱い開始年度	2009年	2015年	2016年	2016年	2017年
	NEMO EQUIPMENT	CT climbing technology	SOURCE Human Nature	i-Trek	LOWA simply more...
	ニーモ	クライミング・テクノロジー	ソース	アイトレック	ローパー
					
	代表的な商品 タニ 山岳用テント	代表的な商品 クリックアップ キット ヒレデバイス	代表的な商品 ワイドパック ハイドレーションリザーバー	代表的な商品 6本爪軽アイゼン 軽くて強度の高いアイゼン	代表的な商品 タホープロ トレッキングブーツ
世間のアウトドアブームの変遷	2005年ごろ ▲女性向けの登山用ファッションが増え「山ガール」ブーム	2011年ごろ ▲山岳救助漫画「岳ガク」の映画化			2020年～ ▲コロナ禍でのキャンプブーム

イワタニ・プリムス(株)のホームページはこちらから ▶

